

令和5年度における本協議会の活動報告



水防災意識社会
再構築ビジョン

1. 各種協議会の開催概要

■行政ワーキンググループの開催

活動報告

- 行政ワーキンググループを京都府域、大阪府域で各1回実施しました。
- 令和4年度の活動内容や取組状況を共有するとともに、各機関からの情報提供を行いました。
- 令和5年度の重点取組を「要配慮者利用施設における避難確保計画等の策定及び避難訓練の実施」とすることで認識共有を図りました。

会議名	開催場所	開催日
行政ワーキンググループ(京都府域)	上流域流域センター	令和 5年 5月29日(月)
行政ワーキンググループ(大阪府域)	中央流域センター	令和 5年 5月19日(金)



京都府域 (5/29)



大阪府域 (5/19)

主な質問・意見

- これまで地域の人には最大被害(L2)に備えるように伝えてきた。今回の多段階リスクマップを見て、市はどのように対応、指導して防災に備えればよいのか。
→避難に関しては、これまでどおり想定最大規模で検討するのが基本と考えている。多段階リスクマップについては、土地利用の観点から、被害の頻度や規模を想定し、それに呼応した避難方法や建物対策を実施して利用を検討するといった際に参考になると考えている。
- 台風接近時の流域タイムラインにおけるweb会議は、国としてはどのタイミングでの連絡になるのか。
→気象台の台風説明会のタイミングにもよるが、近畿への接近ないし淀川への接近が一番近く予想されるタイミングで開催することになると考えている。
- 排水ポンプの運転調整について協議が成立しているところはあるのか。
→土地改良区等、協議が成立している排水機場はある。直轄の排水機場もポンプ運転調整ルールが適用されている。

議論結果

- 各機関における担当部署の代表者らが出席し、令和4年度の活動報告等を踏まえて、各市町村や地域特性に応じた課題や、それぞれの取組事例を共有し、意見交換することで水平展開を図ることができました。

1. 各種協議会の開催概要

■ 首長会議の開催

活動報告

- 首長会議を京都府域、大阪府域でそれぞれ開催しました。
- 住民の防災意識啓発や地域防災力の向上に関する取組(京都府域)、要配慮者施設の避難確保計画・訓練に関する取組(大阪府域)など、地域性を考慮した取組に関する意見交換を実施しました。
- 気象予報士による基調講演「命を守る防災情報」を行いました。

会議名	開催場所	開催日
首長会議(京都府域)	長岡京市 中央生涯学習センター	令和 5年 7月5日(水)
首長会議(大阪府域)	国民會館	令和 5年 6月14日(水)



京都府域 (7/5)



松村宇治市長 堀口八幡市長



大阪府域 (6/14)



谷口木津川市長 前川大山崎町長 信貴久御山町長 中笠置町長 杉浦精華町長 平沼南山城村長



山田島本町長 淀川左岸水防事務組合事務局長 大阪府政策企画部危機管理室長 淀川河川事務所長

議論の概要

以下のような項目で意見交換が行われました。

【京都府域】

- ・地域防災リーダー育成や地域連携について
- ・防災情報の迅速かつ確実な伝達について
- ・次世代に向けた防災啓発活動
- ・防災イベントの実施による啓発活動
- ・要望事項

【大阪府域】

- ・要配慮者施設の避難確保計画・訓練について
- ・個別避難計画について
- ・情報伝達について
- ・地域のサポーターについて

議論結果

- 協議会構成機関である自治体の首長間で意見交換し、今後はコロナの影響で実施が困難であった対面形式のイベント・行事に取り組む等、住民の避難行動につながるようなソフト対策の充実を図るという共通認識が得られました。

1. 各種協議会の開催概要

■ブロック別会議の開催

活動報告

- ブロック別会議を、京都府域：桂川、宇治川、木津川中流、木津川下流、大阪府域：淀川中流、淀川下流、各ブロックで開催しました。
- 令和5年度のソフト対策の実施予定、連携内容について、情報・認識を共有したほか、流域タイムラインに関する意見交換を行いました。

会議名	開催場所	開催日
桂川ブロック	京都府公館	令和5年 9月12日(火)
宇治川ブロック	うじ安心館	令和5年 9月5日(火)
木津川 中流ブロック	木津川市役所 北別館	令和5年 9月22日(金)
木津川 下流ブロック	精華町役場	令和5年 9月13日(水)
淀川 中流ブロック	中央流域 センター	令和5年 9月14日(木)
淀川 下流ブロック	大手前 合同庁舎	令和5年 9月7日(木)

市町村からの主な支援要望

- ・ 防災伝道師の養成講座の支援(大山崎町)
- ・ まるごとまちごとハザードマップ設置の支援(長岡京市、久御山町、和束町、城陽市、京田辺市)
- ・ 宇治市防災シンポジウムへの参加、地域コミュニティタイムライン作成に向けた専門家としての講演等の支援(宇治市)
- ・ マイタイムライン作成の勉強会の支援(木津川市)
- ・ まるごとまちごとハザードマップ高度化設置の支援(木津川市、摂津市)
- ・ マイタイムライン作成の支援(枚方市)



議論結果

- 各機関における実務担当者レベルの職員が意見交換を行い、自治体が抱える課題やその対応・工夫点等について情報を共有しました。
- 流域タイムラインに関する意見交換では、流域タイムラインの考え方や自治体ごとの氾濫(越水)する可能性のある水位について情報を共有しました。

1. 各種協議会の開催概要

■ 鉄道ワーキンググループの開催

実施内容

- 淀川管内水害に強い地域づくり協議会の取組内容、自治体および鉄道事業者から要望内容を確認し、連携事業について意見交換を行いました。
- 平常時における駅施設への掲示物や配架物の設置等について、鉄道事業者との個別協議にて具体的な内容を決定することとなりました。

会議名	開催場所	開催時期
鉄道ワーキンググループ	WEB	令和 5年 8月 8日(火)



議論の概要

【情報共有】

- ・河川予測水位、避難発令情報について現状よりも早い段階での情報共有を要望する意見が出された。避難情報については気象情報を総合的に判断して決定するため、現状より早く情報を出すことは困難であることを確認した。
- ・避難情報や鉄道情報、計画運休の情報収集にあたっては、現行の公開先(京都府域:きょうと危機管理WEB、大阪府域:おおさか防災ネット、各社サイト、各自治体サイト等)を共有した。
- ・鉄道の計画運休に関する情報伝達ルートを確認した。

【洪水時における協力】

- ・自治体と鉄道事業者との協定事例(京田辺市と京都やましる農業協同組合・プロロジス、高槻市とJR西日本・JR東海)を紹介した。

【平常時における協力】

- ・鉄道各社より、駅や車両等を活用した一時的な避難場所としての対応は困難であるという回答が示された。一方で、駅施設への掲示物や配架物の設置協力については協力できる部分もあるとの回答を得られた。

1. 各種協議会の開催概要

■河川情報、河川氾濫リスクに係る研修会の開催

実施内容

- 鉄道ワーキンググループの構成員等を対象とした河川情報、河川氾濫リスクに係る研修会をWEB方式で開催しました。
- 研修内容は、1. 河川の水位情報データ等、2. 河川氾濫に伴う洪水リスクの把握、3. 意見交換とし、水害リスクラインや流域タイムライン等について説明しました。

会議名		開催時期
河川情報、河川氾濫リスクに係る研修会	WEB	令和 6年 2月20日(火)

研修内容

1. 河川の水位情報データ等
 - (1) 河川予測水位データ
 - (2) 氾濫する可能性のある水位(氾濫開始相当水位)
 - (3) 淀川水系流域タイムライン
2. 河川氾濫に伴う洪水リスクの把握
 - (1) 堤防決壊のメカニズム
 - (2) 破堤箇所ごとの浸水リスク等の収集方法
3. 意見交換 : 今年度の鉄道事業者との連携内容と次年度以降の取組
4. アンケート



意見・感想等

- 多くの参加者から研修会の内容が分かりやすく参考になったという意見が出され、次年度以降も継続実施の希望がありました。
- 意見交換の中で、鉄道事業者との連携事業においてまるごとまちごとハザードマップを設置し、住民から好評を得ているという意見がありました。
- アンケート調査により、次年度の研修やWG議題・意見交換テーマについての意見を収集・整理しました。

2. まるごとまちごとハザードマップ

■まるごとまちごとハザードマップの設置状況

実施内容

- 集会所・公民館、公園、市役所、学校付近や交通量の多い道路沿いの電柱や施設壁面に看板を設置しました。



小倉駅周辺の電柱(宇治市)



城陽市役所西庁舎(城陽市)



近鉄富野荘駅 西口(城陽市)



神足地区電柱(長岡京市)



男山中学校(八幡市)



近鉄三山木駅 西側(京田辺市)



佐古公民館(久御山町)

◆令和5年度まるごとまちごとハザードマップの設置状況

市町村名		設置箇所
京都府域	宇治市	1
	城陽市	29
	長岡京市	21
	八幡市	3
	京田辺市	4
	久御山町	6
合計		64

2. まるごとまちごとハザードマップ

■まるごとまちごとハザードマップの高度化

実施内容

- 学校や駅周辺(木津川市)、交通量の多い国道沿い(和束町)の電柱に青色シートでラッピングしました。
- これまでのまるごとまちごとハザードマップ(まるまちHM)に比べてさらに分かりやすく、実際の浸水深が一目でわかるように工夫することで、設置後も浸水リスクをより多くの住民に理解してもらうことができます。

■木津川市における設置



加茂駅(西側)付近



加茂小学校付近



上狛小学校付近



■和束町における設置



木屋立花地区 国道163号沿い



ラッピング前に電柱に取り付けられていた看板を統合したデザイン

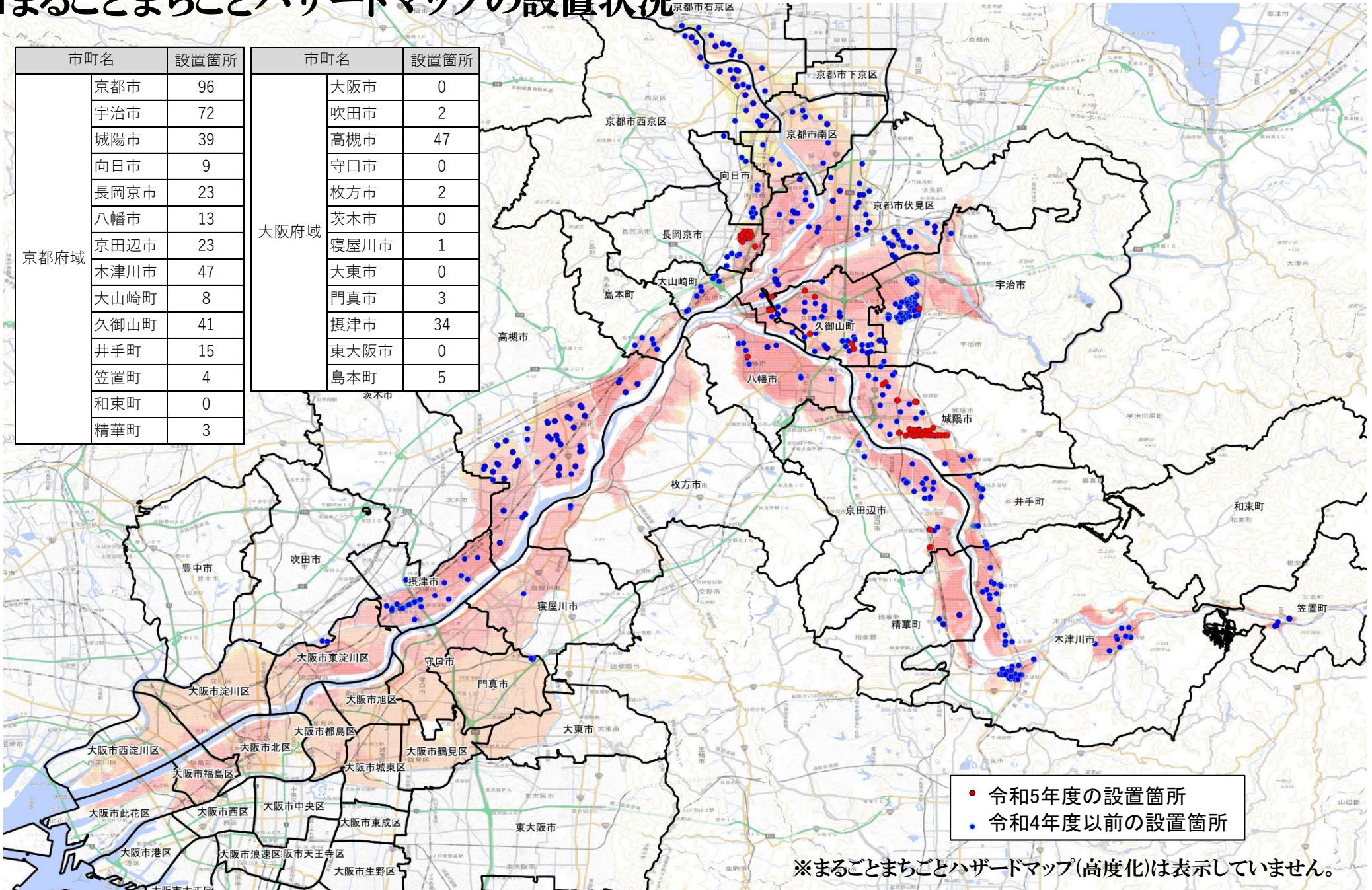
◆令和5年度まるごとまちごとハザードマップ高度化の設置状況

市町村名		設置箇所
京都府域	木津川市	10
	和束町	1
合計		11

2. まるごとまちごとハザードマップ

■ まるごとまちごとハザードマップの設置状況

市町名	設置箇所	市町名	設置箇所
京都市	96	大阪市	0
宇治市	72	吹田市	2
城陽市	39	高槻市	47
向日市	9	守口市	0
長岡京市	23	枚方市	2
八幡市	13	茨木市	0
京田辺市	23	寝屋川市	1
木津川市	47	大東市	0
大山崎町	8	門真市	3
久御山町	41	摂津市	34
井手町	15	東大阪市	0
笠置町	4	島本町	5
和束町	0		
精華町	3		



3. 住民参加型の研修会、勉強会の取組支援

■市町村が実施するマイ・タイムラインの住民参加型施策や出前講座の支援

実施内容

● 水害や避難に関する基礎知識向上を目的とし、住民参加型の研修会、勉強会として、ワークショップ形式でのマイ・タイムライン作成の説明資料作成および運営補助、出前講座の資料作成を実施しました。

【ワークショップ一覧】

項目	研修会・勉強会名	支援概要
1.マイ・タイムラインの作成支援（枚方市）	枚方市自主防災組織 出前講座 マイ・タイムラインの作成	資料作成、 運営補助
2. マイ・タイムラインの作成支援（寝屋川市）	寝屋川市 マイ・タイムラインの作成	資料作成
3.マイ・タイムラインの作成支援（枚方市）	枚方市 地域防災専門研修 ワークショップ「マイ・タイムラインの作成」	資料作成、 運営補助
4.マイ・タイムラインの作成支援（木津川市）	木津川市 マイ・タイムラインの作成	資料作成
5.出前講座の支援(大山崎町)	大山崎町 令和5年度防災伝道師養成講座	資料作成

【ワークショップ例】

STEP①近年の気象傾向とマイ・タイムラインの紹介

近年の気象の傾向と水害事例/マイ・タイムラインとは/ マイ・タイムライン検討ツール『逃げキッド』の中身の確認

STEP②地域の水害リスクの確認

淀川管内で起きた過去の風水害/水害の種類について/ハザードマップの見方/自宅の水害リスクと家庭の状況、避難先までの移動手段・移動時間の記入

STEP③災害情報と避難行動の確認

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！
備えを考えよう！！/避難するときのポイント

STEP④マイ・タイムラインの作成

逃げキッド『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！の説明/
マイ・タイムラインの作成



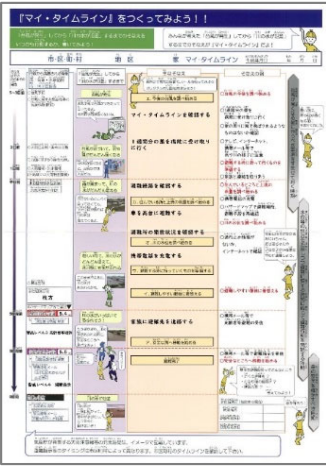
枚方市ワークショップ(令和5年7月1日実施)



枚方市ワークショップ(令和5年12月2日実施)



発表資料例:マイ・タイムラインの作成



使用したツール「逃げキッド」